

ニシキギ通信

新入生8名を迎え、令和8年度「生産技術科」がスタートしました。新しい環境で不安も多い1年生ですが、頑張る先輩の姿を見て、がぜんやる気が出たようです。生徒同士が互いの姿に励まされ、刺激を受けて高め合う。今年もそんな「生産技術科」でありたいです。

1年

はじめての作業学習

○ロウの整備：「小樽雪あかりの路」で運河を照らしたロウソクを再利用してキャンドル製品を作ります。牛乳パックを丁寧に切って型を作り、ロウソクの芯をセットして、溶かしたロウを流し込みます。

「数が多くて大変ですが頑張りました！」(Y・U)

○畑の荒起こし：畑でジャガイモを栽培するために、剣先スコップで硬い土を何度も掘り起こします。泥にまみれながら挑戦しました。

「とても疲れて翌日筋肉痛になりました！」(H・K)



2年

大きく育て!

荒起こし→石灰散布→畝^{うね}立て→マルチ張り→定植の流れです!



2年生では、紙工もありますが、これからは作物栽培が主体です。収穫された野菜たちは「こども食堂」への提供や給食で活用されます。

いよいよ畑作業開始!

3年

いよいよ最終学年!

紙すき作業、始まりました。

3年生が最初に手がけるのは「紙すき作業」です。自分たちで作った和紙を使って、封筒や便せん、コースターを製作します。また、卒業文集の表紙を飾るなど、価値あるものに生まれ変わります。

さらに、サンドブラストや花壇管理にも取り組んでいます。3年生らしいチームワークで力を合わせて日々の作業に取り組んでいます。

